

2023年5月9日

会社名 株式会社TOKAIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小栗 勝男
(コード番号：3167 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 中村 俊則
(TEL：054-275-0007)

TOKAIグループ「中期経営計画 2025」について

この度、TOKAIグループは、新たに「中期経営計画 2025」を策定し、本日開催の当社取締役会において決議いたしました。

このわずか1~2年の間に、コロナ禍やウクライナ侵攻に端を発した世界的なエネルギーの高騰がもたらした影響は大きく、企業活動はもちろん、お客様の生活意識や行動にも急激な変化をもたらしました。

このような状況であることから、私たちが2030年までに目指す姿について再整理し、今後3年間の取り組みについて、「中期経営計画 2025」に織り込みました。

TOKAIグループは、市場環境が変わるなかでも着実に収益を上げる企業として、ステークホルダーの皆様のご期待に応えるべく取り組んでまいります。

【TOKAIグループ中期経営計画 2025の概要】

この新中計では、2025年度までの3年間で、「成長の根源・基幹・果実」という3つの要素からなる成長ツリーに沿って、それぞれの取り組みを強化・推進していきます

① 事業収益力の成長（果実）

当社グループが持つ経営資源を再点検し、資本効率の観点から事業ポートフォリオを最適化します。その上でコア事業については、エリアや顧客件数といった収益基盤の拡大を目指します。一方で、お客様が求める社会課題を解決する観点からの新サービスについても積極的に取り組んでまいります。

② 持続的成長基盤の強化（基幹）

LPガスや都市ガスなどエネルギー事業を展開する当社グループとしては、持続的成長を実現するうえで、低・脱炭素化への取り組みは大きなテーマとなります。当社グループのみならず、地域・お客様・サプライヤーなどと一体となった取り組みに広げ、2050年のカーボンニュートラルを実現します。

③ 人財・組織の活力最大化（根源）

当社グループは、新たなキャリア支援制度を設けるとともに、多様な働き方や給与制度の見直しなど、働きがいのある組織づくりに取り組んでおります。従業員のウェルビーイング向上により、自律的で活力・熱意にあふれる人財に育て、中長期的な企業成長につなげてまいります。

■経営資源の配分

営業キャッシュフローの配分については、事業の成長投資に積極的に振り向けるとともに、株主還元は配当性向 40～50%の範囲で安定的に行い、自己株式取得についても機動的に実施していく方針です。

■経営指標

中期経営計画 2025 では、事業成長と収益基盤の拡充を目指すとともに、資本効率(ROE、ROIC) についても市場の期待に応えるよう取り組んでまいります。

	2022年度 実績	2023年度 予算	前年 比	2024年度 計画	前年 比	2025年度 計画	前年 比
売上高	2,302億円	2,400億円	+98億円	2,500億円	+100億円	2,600億円	+100億円
営業利益	149億円	150億円	+1億円	160億円	+10億円	175億円	+15億円
経常利益	133億円	150億円	+17億円	160億円	+10億円	175億円	+15億円
当期純利益	65億円	85億円	+20億円	90億円	+5億円	100億円	+10億円
営業CF	212億円	217億円	+5億円	230億円	+13億円	244億円	+14億円
顧客件数	330万件	338万件	+8万件	348万件	+10万件	357万件	+9万件
配当性向	64.8%	49.2%	△ 15.6%	40～50%			
ROE	8.2%	10.3%	+2.1%	10.4%	+0.1%	10.8%	+0.4%
ROIC	8.3%	8.0%	△ 0.3%	8.2%	+0.2%	8.7%	+0.5%
1株当たり純利益	49.4円	65.1円	+15.7円	68.9円	+3.8円	76.6円	+7.7円

以 上

●関連資料

<https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/management/manageplan.html>